報道公開されたアスピーテラインの除雪作業（４月５日）

話題ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
☎・内線1202まで。

春告げる八幡平の雪壁

八幡平アスピーテライン・樹海ライン開通

八幡平アスピーテラインの開通式は４月15日に、八幡平樹海ラインの開通式は27日にそれぞれ行われ、八幡平の春の観光シーズン到来を告げました。

アスピーテラインの開通式は雨に見舞われたため、松尾八幡平ビジターセンター前で行われましたが、ゲートは３年ぶりに開通日に開放。観光客は最大約７㍍の雪壁を見ようと山頂へ車を走らせました。

開通はタイの大型連休に合わせて実施。国内観光客と併せ、外国人客の入り込み増加を図ります。

散策を楽しむ夫婦や記念撮影に興じる観光客ら（４月19日）

市役所を訪問し、田村正彦市長らと懇談しました

リンドウ縁で誘致前進

ルワンダ共和国五輪組織委員会会長視察

リンドウ栽培で交流を続けているルワンダ共和国のバレンス・ムニャバギシャ五輪組織委員会会長は３月26日、市内の体育施設や宿泊施設を視察しました。

市は、リンドウ栽培に限らず同国とスポーツや文化などさまざまな分野での交流を目指し、昨年12月に事前合宿を提案。今回の視察につながりました。

本市の印象について、ムニャバギシャ会長は「山が多くて人が温かいところがルワンダに似ていて、まるで故郷にいるようだ」と好感を示しました。

遠藤健悦教育長から元平舘小校長の工藤哲男さん（右）へ瑞宝双光章が伝達されました（3月29日、市役所）

30年度の地域おこし協力隊は、29年度から継続して活動する５人でスタート（４月２日、辞令交付式）

西根病院の工事安全祈願祭が行われました。完成は平成32年３月の予定（４月３日、大更駅東側現地）

経験生かし今後も貢献

平成29年度市地域おこし協力隊卒業報告会

平成29年度で市地域おこし協力隊を卒業する菊池光洋さん(37)の卒業報告会は３月27日、市役所で開かれ、田村正彦市長や同隊員ら約20人に３年間の活動や今後について報告しました。

菊池さんは、修学旅行での農業体験の受け入れ・手配や七時雨マウンテントレイルフェスの事務、ふるさと納税返礼事業に尽力。今後も市内に居住し、(一社)ドリームプロジェクトで、ふるさと納税返礼事業の職務に当たります。

３年間の思い出も交え、活動を報告しました

誕生祝いスプーン贈呈

出生記念品(子ども用スプーン)贈呈事業

安比塗の子ども用スプーンを受け取った万浪さんと望ちゃん

市は、赤ちゃんの誕生を祝って、市の特産品である安比塗の子ども用スプーンを贈呈する記念品事業を始めました。対象は４月以降に生まれた新生児で、出生届を窓口に提出する際に贈呈します。

４月17日に出生届を提出し、記念品事業第１号となった田村望(のぞみ)ちゃんの母の万浪(まなみ)さん＝山崎＝は、「この事業は初めて知ったので、びっくりしました。地元に伝わるものをいただけてうれしいです。離乳食を食べさせる時に使うのが楽しみ」と笑顔で喜びました。

新制服をまとい初登校

平成30年度平舘高校入学式

平成30年度平舘高校入学式は４月６日、同校体育館で行われ、72人(普通科48人・家政科学科24人)の生徒が入学しました。

平舘高校創立70周年を期に、紫根染のカラーである紫色のライン入りブレザーに制服を一新。新制服姿で緊張した面持ちの新入生を、在校生が拍手で迎えました。西根第一中卒の遠藤朱梨(あかり)さんは「将来の夢や目標達成に向けて精一杯努力し、勉強や部活動、社会貢献に取り組みます」と誓いました。

太田優子校長の前で新入生を代表し、宣誓する遠藤さん

すなっぷギャラリー

3月25日で100歳を迎えられました齊藤キヨさん=日瀬通=いつまでもお元気で(４月15日、湯瀬ホテル)

緊張でいっぱいだけど元気にお返事ができました(４月９日、寄木小入学式)

トレインジャーと一緒に踏み切りの正しい渡り方を学んだ平舘小１・２年生(４月18日、鉄道安全教室)

岩鷲護神ハチマンタイラーが児童に黄色い羽根を配布し交通安全を呼び掛けました(４月12日、大更小)

安代漆工技術研究センター修了制作展で卒業制作を披露する修了生(３月30日、市役所多目的ホール棟)

田村市長に研修報告をする盛岡中央高の生徒たち

夢に向かい貴重な経験

青少年派遣研修事業参加報告

盛岡中央高の生徒３人は３月28日、市役所を訪れ、オーストラリアのアデレードで、約２週間の現地学生の生活体験を田村正彦市長に報告。最初は英会話に不安があったが、積極的に会話を心掛けることで、ホストファミリーらに溶け込めたと振り返ります。

将来は「数学者」「生物に関する仕事」「出版関係の仕事」に就きたいと語る生徒たち。田村市長の「どんな仕事でも将来的に英語は必要になる」という言葉に、貴重な経験を将来に生かす決意を新たにしました。

スキー教師交流深める

第44回SIAフェスティバル2018

(公社)日本プロスキー教師協会(SIA)が主催する第44回SIAフェスティバル2018は４月４日から12日までの９日間、安比高原スキー場周辺を会場に開催。イタリアから講師を招聘(しょうへい)し、スキー教師の検定会や技術講習会、初心者向け練習会などが開かれました。

８日はホテル安比グランドでウェルカムパーティーが開かれ、SIAスキー教師や地元関係者など約290人が参加。総裁を務める彬子(あきこ)女王殿下は「スキーの発展のため、交流を深めてほしい」と述べられました。

ウェルカムパーティーであいさつされた彬子女王殿下

決意を表明する田村良芽君と田村友芽さん

目指せ！オリンピック

市スポーツ少年団結団式

市スポーツ少年団結団式は４月22日、市総合運動公園(ピョンチャン)体育館で行われました。式には、ソチ、平昌オリンピックノルディック複合日本代表の永井秀昭選手が出席し、約280人の後輩団員を激励しました。

団員を代表し、本年度発足した市ラグビースポーツ少年団の田村良芽(りょうが)君と田村友芽(ゆめ)さんが、今季の決意を表明。式後、田山スポーツ少年団の安保息吹(いぶき)君は「一日一日を大切に、一生懸命練習に取り組んで、自分もオリンピック選手になりたい」と意欲を燃やしました。